

## 第3章 障害児通所系サービスの活動目標

### 1 障害児通所支援

日常生活の基本的動作の指導等を行う児童発達支援、医療型児童発達支援、居宅訪問型児童発達支援、放課後等に生活能力向上を支援する放課後等デイサービス、保育所等訪問支援事業があります。

事業名	活動指標等																																													
(1)児童発達支援	<p>児童発達支援は、身近な地域の障害児支援の専門施設（事業）として、通所利用の障害児や、地域の障害児、その家族に対して、日常生活における基本的な動作の指導等の支援を行うものです。</p> <p><b>①第4期計画と実績</b> 利用者数、利用延日数ともに計画を下回って推移しています。</p> <p><b>②見込量</b> 利用者数の見込は、平成27年度から平成29年度までの実績をもとに、現に利用している障害児の数、新規利用のニーズ、事業所の新設等を勘案して算出しています。 利用延日数は、これまでの実績から事業ごとの1人当たり利用日数を求め、それぞれの利用延日数を合算して算出しています。</p> <p><b>③見込量確保のための方策</b> 利用者のニーズを見極めながら、新たに児童発達支援に取り組む事業所の参入の促進に努めます。</p> <p><b>表3-3-1 第4期計画と実績および第5期見込量</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">区分</th> <th colspan="6">第4期計画値と実績値</th> <th colspan="3">第5期見込量</th> </tr> <tr> <th colspan="2">平成27年度</th> <th colspan="2">平成28年度</th> <th colspan="2">平成29年度</th> <th rowspan="2">平成30年度</th> <th rowspan="2">平成31年度</th> <th rowspan="2">平成32年度</th> </tr> <tr> <th>計画</th> <th>実績</th> <th>計画</th> <th>実績</th> <th>計画</th> <th>実績(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数(人/月)</td> <td>281</td> <td>203</td> <td>330</td> <td>203</td> <td>380</td> <td>255</td> <td>268</td> <td>275</td> <td>282</td> </tr> <tr> <td>利用延日数(日/月)</td> <td>1,714</td> <td>1,331</td> <td>2,013</td> <td>1,262</td> <td>2,318</td> <td>1,220</td> <td>1,435</td> <td>1,457</td> <td>1,480</td> </tr> </tbody> </table>	区分	第4期計画値と実績値						第5期見込量			平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成31年度	平成32年度	計画	実績	計画	実績	計画	実績(見込)	利用者数(人/月)	281	203	330	203	380	255	268	275	282	利用延日数(日/月)	1,714	1,331	2,013	1,262	2,318	1,220	1,435	1,457	1,480
区分	第4期計画値と実績値						第5期見込量																																							
	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成31年度	平成32年度																																					
	計画	実績	計画	実績	計画	実績(見込)																																								
利用者数(人/月)	281	203	330	203	380	255	268	275	282																																					
利用延日数(日/月)	1,714	1,331	2,013	1,262	2,318	1,220	1,435	1,457	1,480																																					
(2)医療型児童発達支援	<p>医療型児童発達支援は、児童発達支援および治療を行うものです。市内には富山県リハビリテーション病院・こども支援センターがあります。</p> <p><b>①第4期計画と実績</b> 利用者数、利用延日数ともに計画を下回って推移しています。</p> <p><b>②見込量</b> 利用者数の見込は、現に利用している障害児の数、新規利用のニーズ等を勘案して算出しています。利用延日数は、これまでの実績から1人当たり利用日数を10日/月として算出しています。</p> <p><b>③見込量確保のための方策</b> 見込量は確保されると考えられます。</p>																																													



事業名	活動指標等								
	表3-3-2 第4期計画と実績および第5期見込量								
区分	第4期計画値と実績値						第5期見込量		
	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成31年度	平成32年度
	計画	実績	計画	実績	計画	実績(見込)			
利用者数(人/月)	15	1	15	2	15	3	4	5	6
利用延日数(日/月)	180	10	180	20	180	24	40	50	60

(3)放課後等  
デイサービス

放課後等デイサービスは、学校に在学する障害児に、放課後や夏休み等の長期休業中において、生活能力向上のための訓練等を継続的に提供することにより、学校教育と相まって障害児の自立を促進するとともに、放課後等の居場所づくりを推進するものです。また、平成30年4月から、利用者の状態像を勘案した指標により報酬区分が設定されます。

①第4期計画と実績

事業所の増加等により、利用者数、利用延日数とも計画を上回って推移しています。

②見込量

利用者数の見込は、平成27年度から平成29年度までの実績をもとに、現に利用している障害児の数、新規利用のニーズ、事業所の新設、特別支援学校に在籍する児童数等を勘案して算出しています。利用延日数は、これまでの実績から1人当たり利用日数を11.5日/月として算出しています。

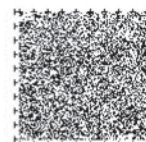
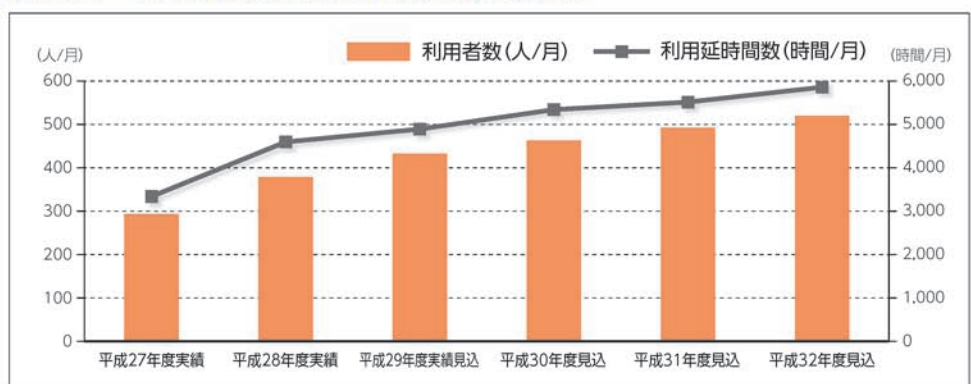
③見込量確保のための方策

障害のある子どもに対し適切かつ継続的な支援を行うために、放課後等デイサービスに対する需要は高いことから、新規事業所の参入の促進に努めます。

表3-3-3 第4期計画と実績および第5期見込量

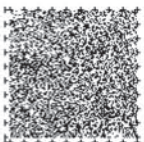
区分	第4期計画値と実績値						第5期見込量		
	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成31年度	平成32年度
	計画	実績	計画	実績	計画	実績(見込)			
利用者数(人/月)	290	294	300	381	310	431	460	490	520
利用延日数(日/月)	3,190	3,384	3,300	4,634	3,720	4,946	5,290	5,635	5,980

図3-3-1 第4期実績および第5期見込量の推移





事業名	活動指標等																																													
(4)保育所等 訪問支援	<p>保育所等訪問支援とは、保育所等集団生活を営む施設に通う障害児であって、当該施設を訪問し、支援を要すると認められた障害児に対して、他の児童との集団生活への適応のための専門的な支援その他必要な支援を行うものです。</p> <p>①第4期計画と実績 利用者数、利用延日数ともに計画を下回って推移しています。</p> <p>②見込量 利用者数の見込は、平成29年度の支給決定者数（24人）を基準として、現に利用している障害児の数、新規利用のニーズ等を勘案して算出しています。利用延日数は、これまでの実績から1人当たり利用日数を1日/月として算出しています。</p> <p>③見込量確保のための方策 希望する者がサービスを受けられるよう、事業所に対しては訪問回数の増加について促すとともに、新たに保育所等訪問支援に取り組む事業所の参入の促進に努めます。</p> <p><b>表3-3-4 第4期計画と実績および第5期見込量</b></p> <table border="1" data-bbox="378 836 1349 1114"> <thead> <tr> <th rowspan="3">区分</th> <th colspan="6">第4期計画値と実績値</th> <th colspan="3">第5期見込量</th> </tr> <tr> <th colspan="2">平成27年度</th> <th colspan="2">平成28年度</th> <th colspan="2">平成29年度</th> <th rowspan="2">平成30年度</th> <th rowspan="2">平成31年度</th> <th rowspan="2">平成32年度</th> </tr> <tr> <th>計画</th> <th>実績</th> <th>計画</th> <th>実績</th> <th>計画</th> <th>実績(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数(人/月)</td> <td>16</td> <td>4</td> <td>18</td> <td>1</td> <td>20</td> <td>3</td> <td>24</td> <td>30</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>利用延日数(日/月)</td> <td>32</td> <td>5</td> <td>36</td> <td>1</td> <td>40</td> <td>3</td> <td>24</td> <td>30</td> <td>36</td> </tr> </tbody> </table>	区分	第4期計画値と実績値						第5期見込量			平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成31年度	平成32年度	計画	実績	計画	実績	計画	実績(見込)	利用者数(人/月)	16	4	18	1	20	3	24	30	36	利用延日数(日/月)	32	5	36	1	40	3	24	30	36
区分	第4期計画値と実績値						第5期見込量																																							
	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成31年度	平成32年度																																					
	計画	実績	計画	実績	計画	実績(見込)																																								
利用者数(人/月)	16	4	18	1	20	3	24	30	36																																					
利用延日数(日/月)	32	5	36	1	40	3	24	30	36																																					
(5)居宅訪問型 児童発達支援	<p>居宅訪問型児童発達支援とは、重度の障害等のために外出が著しく困難な障害児に対し、その居宅を訪問して発達支援を提供するものです。</p> <p>①見込量 利用者数の見込は、障害児や医療的ケア児のニーズ等を勘案して算出しています。</p> <p>②見込量確保のための方策 事業の周知を図るとともに、新たに居宅訪問型児童発達支援に取り組む事業所の参入の促進に努めます。</p> <p><b>表3-3-5 第5期見込量</b></p> <table border="1" data-bbox="378 1561 1185 1738"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="3">第5期見込量</th> </tr> <tr> <th>平成30年度</th> <th>平成31年度</th> <th>平成32年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数(人/月)</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>利用延日数(日/月)</td> <td>10</td> <td>15</td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table>	区分	第5期見込量			平成30年度	平成31年度	平成32年度	利用者数(人/月)	2	3	4	利用延日数(日/月)	10	15	20																														
区分	第5期見込量																																													
	平成30年度	平成31年度	平成32年度																																											
利用者数(人/月)	2	3	4																																											
利用延日数(日/月)	10	15	20																																											



## 2 障害児相談支援

事業名	活動指標等																																													
障害児相談支援	<p>障害児相談支援とは、障害のある子どもが障害児通所支援を利用する前に利用計画を作成し、利用開始から一定期間ごとにモニタリング等の支援を行うものです。</p> <p>①第4期計画と実績 利用者数については、計画を大幅に上回って推移しています。</p> <p>②見込量 利用者数については、引き続き新規利用者が増える見込まれることや、平成30年4月からモニタリング期間が見直され、頻度を高めることが求められることから、増加傾向で推移していくと予想されます。そのため、現に利用している者の数や、新規利用のニーズ等を勘案して算出しています。</p> <p>③見込量確保のための方策 障害児相談支援の指定を受けていない既存の相談支援事業所および指定障害福祉サービス事業所に対し障害児相談支援事業への取組を促す等、事業所の適正数の確保に努めます。</p> <p>表3-3-6 第4期計画と実績および第5期見込量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">区分</th> <th colspan="6">第4期計画値と実績値</th> <th colspan="3">第5期見込量</th> </tr> <tr> <th colspan="2">平成27年度</th> <th colspan="2">平成28年度</th> <th colspan="2">平成29年度</th> <th rowspan="2">平成30年度</th> <th rowspan="2">平成31年度</th> <th rowspan="2">平成32年度</th> </tr> <tr> <th>計画</th> <th>実績</th> <th>計画</th> <th>実績</th> <th>計画</th> <th>実績(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数(人/月)</td> <td>84</td> <td>242</td> <td>92</td> <td>197</td> <td>100</td> <td>227</td> <td>260</td> <td>280</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td>支給決定者数(人)【参考】</td> <td></td> <td>570</td> <td></td> <td>661</td> <td></td> <td>840</td> <td>940</td> <td>1,040</td> <td>1,140</td> </tr> </tbody> </table>	区分	第4期計画値と実績値						第5期見込量			平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成31年度	平成32年度	計画	実績	計画	実績	計画	実績(見込)	利用者数(人/月)	84	242	92	197	100	227	260	280	300	支給決定者数(人)【参考】		570		661		840	940	1,040	1,140
区分	第4期計画値と実績値						第5期見込量																																							
	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成31年度	平成32年度																																					
	計画	実績	計画	実績	計画	実績(見込)																																								
利用者数(人/月)	84	242	92	197	100	227	260	280	300																																					
支給決定者数(人)【参考】		570		661		840	940	1,040	1,140																																					

## 第4章 地域生活支援事業の活動目標 (障害児のみ対象となる事業)

事業名	活動指標等
(1)障害児等療育支援事業	<p>在宅の障害児の地域における生活を支えるため、身近な地域で療育相談・指導が受けられるよう療育体制の充実を図るとともに、関連する療育機関との連携を図ります。現在、富山市恵光学園で実施している障害児等療育支援事業を継続して実施します。</p>
(2)児童発達支援センター機能強化事業	<p>富山市恵光学園において、乳幼児発達支援相談事業、発達障害児相談支援事業、事業者のネットワークづくり事業などを継続して実施します。</p>

